

将来を厳しくチェック!

かけがえのない我が熊野町の

気になる6件をピックアップ

3月定例会（3月7日開会） 町から諮問4件、議案26件

ピックアップ①

諮問第1～4号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
人権擁護委員4名を適任としました。
○向久保健藏氏（再任） ○梶山 孝之（再任）
○菊池 實氏（再任） ○木村 邦子（新任）
※任期は、平成29年7月1日～平成32年6月30日（3年間）

ピックアップ②

議案第2号 農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例案について
農業委員会の委員及び新設する農地利用最適化推進委員の定数を定めました。
農業委員を14名から10名とし、最適化推進委員を4名としました。

ピックアップ③

議案第6号 熊野町国民健康保険条例の一部を改正する条例案について
国保財政の健全運営を図るため、税率を改正しました。
医療保険分の所得割・4.85%↓5.30%、後期高齢者支援分の所得割・1.36%↓1.65%、均等割・7800円↓8700円、平等割・6100円↓6700円、介護保険分の所得割1.29%↓1.85%、均等割9800円↓1万1千円、平等割5200円↓7800円に引き上げます。

ピックアップ④

議案第10号 連携中核都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について
広島市と熊野町との連携協約の一部を変更しました。
圏域内の高齢者が、住みなれた地域で自立した日常生活を営めるよう、在宅医療相談支援窓口の運営など、地域包括ケアの推進に取り組めます。

ピックアップ⑤

議案第11号 熊野東中学校普通教室棟大規模改修工事（第1期）請負契約の締結について
大規模改修工事の請負契約を締結しました。
建設から35年が経過し、老朽化しているこの施設の改修工事費の請負金額を1億7172万円としました。

ピックアップ⑥

議案第15号 平成28年度熊野町一般会計補正予算
歳入・歳出とも3億3219万1千円を減額し、総額を85億4026万6千円としました。
【主な内容】
（歳入）町税は増額しましたが、各種交付金や事業費の減額等により国庫支出金、繰入金等を減額しました。
（歳出）情報ネットワークのセキュリティ強化に必要な経費や定住促進拠点施設整備に必要な経費は増額しましたが、全体では各種事業の執行残等により減額しました。

主な質疑等

Q. 農業委員と最適化推進委員の業務分担はどのようになるか。
A. 農業委員はこれまでの許認可業務を主体とし、最適化推進委員は現場主義的位置付けで、耕作に関する相談等が、主な業務となります。

Q. 選出方法はどのようになるか。
A. 農業委員は公募形式とし、議会の同意を要件とする町長の任命制となります。最適化推進委員も公募形式とし、町内を4区域に分けて、農業委員会が委嘱することとなります。

Q. 国民健康保険税を値上げしなければならなくなったのはなぜか。
A. 国保制度上の問題もありますが、基本的には、医療費の単価が高い65歳以上の割合が増加したことによります。

Q. 医療費の増大は大きな問題だ。住民の意識改革が必要ではないか。
A. 町民の健康づくりや介護予防などが大切だと考えています。

Q. 本町の税率は他の市町と比較して高いのか、低いのか。
A. 平成26年度のデータでは、県全体の23市町中18番目で低い方でした。今回の改正で15番目となる見込みです。

Q. 新たな地域包括ケアとはどんなものか。
A. 単町の包括支援センターでは十分に対応できない医療分野の相談に対して広島市・安芸地区医師会と連携して、より効果的に対応できるようにしました。

Q. くまの・みらい交流館で給湯量の不足などのミスが出ている。
監理業務はどのようにするのか。
A. 国庫補助の大きな工事であり、最小限外部委託をするが、できるだけ町職員で行う考えです。

Q. 入札のあり方を聞きたい。また入札予定価格に無理はないのか。
A. 入札業者は、工事の設計金額に応じた実績等により指名委員会が決定しています。入札予定価格については、国からの通達も出ており、町の技師によるチェックや建設単価等の積算、さらには専門業者による見積もりを徴収して適正に実施しています。

Q. 住民参加型まちづくり施設整備事業補助金について、平成28年度は該当者がいなかった。町は働きかけているのか。
A. 検討中の団体もある。我々も協力して取り組んでいきたい。

※その他の質問については、熊野町議会ホームページをご覧ください。